

令和5年度 生活支援コーディネーター活動支援研修会 開催要綱

- 1 目 的 本研修は、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを強化するため、生活支援体制整備事業の推進役である生活支援コーディネーターの資質向上及び情報交換を図ることを目的とする。
- 2 実施機関 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
- 3 受講対象 市町村職員、生活支援コーディネーター
- 4 受講定員 基礎編：50名（集合研修・先着順）
※基礎編は概ね経験年数3年以内の方を対象とします。
応用編：50名（集合研修・先着順）
- 5 期 日 基礎編：令和5年7月28日（金曜日）午前10時から午後4時まで
応用編：令和5年10月4日（水曜日）午前10時から午後4時まで
- 6 会 場 基礎編：秋田県JAビル9階コンベンションホール
（秋田市八橋南二丁目10番16号）
応用編：秋田県社会福祉会館10階大会議室
（秋田市旭北栄町1番5号）
- 7 講 師 東海大学建築都市学部建築学科 特任准教授 後藤 純 氏
- 8 参加費 無料
- 9 申込締切 令和5年7月19日（水曜日）
※下記のURL 又はQRコードの
申し込み用 Google フォームからお申し込みください。
【URL】 <https://forms.gle/egV3UY8tkLKrppEy7>

【QRコード】



10 日程・内容

《基礎編》 7月28日（金曜日）

時 間	内 容
9:30～	受付
10:00～10:05	開会・オリエンテーション
10:10～11:10	<p>【講義1 地域包括ケアと生活支援体制整備事業】</p> <p>1. 2040年の地域包括ケアシステム</p> <p>2. フレイル予防と通いの場づくり</p> <p>3. あなたのコミュニティは、どのタイプですか？</p> <p>4. つながり・社会参加、その基礎に純粋な信頼関係はありますか</p> <p>5. コミュニティ・デザイン学からみた、生活支援体制整備事業</p>
11:10～12:00	<p>【演習1 自分の居場所を構想する】</p> <p>○自分の居場所を構想する ワークシート1 作業 15分</p> <p>○グループでの自己紹介+意見交換 15分</p> <p>○まとめ共有 5分</p> <p>○全体共有 15分</p>
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～14:30	<p>【講義2 生活支援コーディネーターの役割と最初の一步の踏み出し方】</p> <p>・協議体とのかかわり方（互助とSC）</p> <p>・資源開発の3つの方法（最初の一步）</p> <p>・移送サービス、配食サービスの考え方</p>
14:30～14:45	休憩
14:45～15:30	<p>【演習2 課題解決・社会資源の開発に取り組む企画を考えよう】</p> <p>・2層SC+2層協議体自前研修</p> <p>・生活支援サービスを介して介護保険制度をつなげる（住民同士の支え合い）</p> <p>・地域ニーズ把握のための住民ワークショップと活動立上げ</p> <p>・フリートーク</p>
15:30～15:50	<p>【意見交換 実際に活動を行う上での課題を共有する】</p> <p>○各班で、良いアイデアや、悩ましい課題などについて報告する</p> <p>・第2回までに生活支援体制整備事業を前に進めることを話し合う</p> <p>・講師への質問などがあれば、どんどん出す。</p>
15:50～16:00	アンケート・閉会

《応用編》 10月4日（水）

時 間	内 容
9：30～	受付
10：00～10：05	開会・オリエンテーション
10：05～12：00	【地域包括ケアシステムは互助の強化】 ○講義・演習（仮題） ・家族に頼らず地域住民で支え合うために ・生活支援の立ち上げを企画する
12：00～13：00	昼食休憩
13：00～15：50	○グループワーク（情報交換） ○応用編のまとめ
15：50～16：00	○質疑応答・アンケート・閉会

※進捗状況によって、多少時間が前後する場合があります。

※新型コロナウイルスの感染状況により研修内容を変更する場合は、別途御連絡します。

1 1 申込み・問い合わせ先

社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
地域福祉・生きがい振興部 担当／柏・工藤
〒010-0922 秋田市旭北栄町 1-5
TEL：018-824-2777 Fax：018-864-2742
E-mail：ikigai@akitakenshakyō.or.jp